

年 組 名前:

困窮世帯に学用品配布

富士川の団体「支援広げたい」

町社協、民生委員らで構成。子育て支援に携わる人たちが



一体的に活動することで支援を充実させようと2021年3月に結成した。学用品の配布は就学支援金の給付を受ける世帯や一人親の家庭が対象で、昨年10月に初めて実施。第2弾となる今年5月は増穂小、中の体育着や上履き、書道用具などを配布した。今回は町内の各学校に回収箱を設置するなどした結果、集まった学用品の数が昨年10月よりも増えたという。

ネットワークの参加団体の担当者は「幅広い事業に取り組めるようになり、町民への周知もしやすくなった。今後も連携を深め、より効果的な支援をしていきたい」と話していた。

〈深沢澤〉

体育着を渡す担当者（左）＝富士川町児童センター

子育て支援団体でつくる「富士川町地域ネットワーク」は生活困窮世帯向けに、不要になった学用品を無償で配布する活動に取り組んでいる。担当者は「今後も支援の輪を広げていきたい」と話している。

子育て支援に取り組むNPO法人や一般社団法人、町、

(2023年6月7日付 山梨日日新聞 14面)

問1 富士川町の団体は、生活困窮世帯向けに、どのような活動をしていますか。

.....

問2 この活動に取り込んでいる富士川町の団体は、だれによって構成されていますか。

.....

問3 今回は、なにを配布しましたか。

.....

問4 今回は以前と比べ、配布数が増えました。その理由を教えてください。

.....